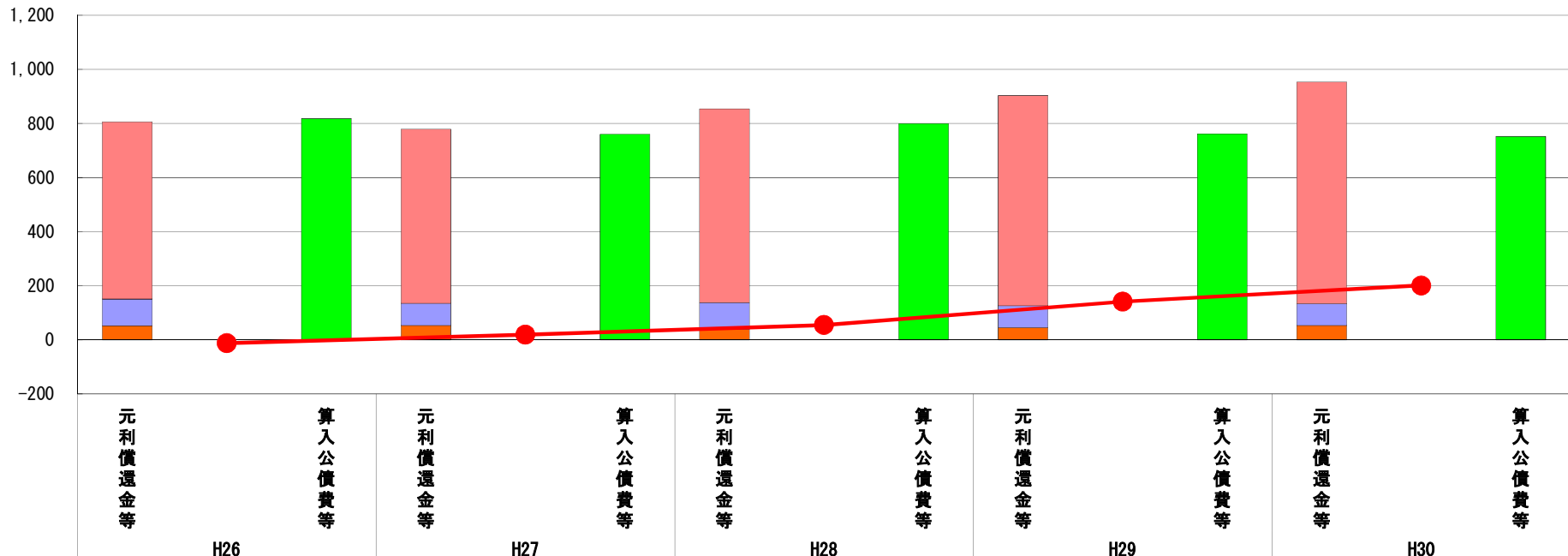


### (9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成30年度

長野県下諏訪町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H26	H27	H28	H29	H30
元利償還金等 (A)	元利償還金		655	644	717	777	819
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		99	82	98	81	81
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		52	53	39	45	53
	債務負担行為に基づく支出額		-	-	-	-	-
	一時借入金の利子		0	-	0	0	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		818	760	799	762	752
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		▲ 12	19	55	141	201

#### 分析欄

実質公債費の分子は、ここ数年一般会計及び公営企業会計において元利償還金が年々減ってきていることから、減少傾向にあったが平成30年度においては、対前年度比+60,297千円増の201,083千円となった。要因としては、一般会計の元利償還金については、近年実施してきた大型の投資的事業の借入金の償還が本格的に始まったことから前年度比+42,615千円増の819,450千円となったこと、一部事務組合への負担金についても上記同様償還金の増により前年度比+8,176千円増の53,107千円となったことが影響している。次年度以降も当分の間は公債費や一部事務組合への地方債充当繰出金が増える見込みであるので引き続き注視の上、適切な財政運営に心がける。

※1 平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考)

		年度	H25末	H26末	H27末	H28末	H29末
※2 減債基金積立状況等	減債基金残高(注)		70	70	1	1	1
	減債基金積立相当額		0	0	0	0	0

#### 分析欄

平成27年度において3億8,600万円の繰上償還を行った際、ほぼすべての基金を取り崩したことでH29末では60万円の残高となっている。余剰金が出れば本基金に積み立てをしていきたい。

(注) 減債基金残高のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源として積み立てた額に係るもののみを記入。

減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。